

政策 1 背後圏の産業を物流面から支え、地域経済の進展に大きく貢献する港づくり

政策の目標項目と目標数値

政策目標項目	四日市港における総取扱貨物量	目標値	67,308 千トン
		現状値 (2006年)	60,687 千トン

〔政策目標項目の説明〕

・四日市港において1年間に取り扱った海上出入貨物の総量。(重量ベース)

施策及び事業

〔施策〕	〔事業〕	〔ページ〕
101 港湾サービスの提供と利便性向上 (8 ページ)	10101 港湾活動支援サービスの提供	9
	10102 サービス水準の向上	10
	10103 物流機能多様化の推進	11
	10104 コンテナ定期航路網の充実	11
102 港湾利用の促進 (13 ページ)	10201 ポートセールス活動の推進	14
103 港湾活動にかかる安全の確保 (15 ページ)	10301 港湾施設等の安全管理	16
	10302 港湾保安対策の推進	17
104 港湾経営基盤の充実・強化 (18 ページ)	10401 港湾施設の整備	19
	10402 既存ストックの有効利用	19
	10403 道路アクセス網の充実	20

施策 101 港湾サービスの提供と利便性向上

目的	対象	港湾ユーザーに提供される様々な港湾サービスが	
	意図	ユーザーのニーズに応じ適切に提供されるとともに、より利便性が高く優位性のあるものとなっている という状態にする	
施策目標項目	港湾サービスの提供にかかるユーザーの満足度	目標値	92 %
		現状値 (2005年度)	73 %

〔施策目標項目の説明〕

- ・ 港運企業や船社などの港湾ユーザーへのアンケート調査で、四日市港の港湾サービスの提供について「満足」または「やや満足」と回答したユーザーの割合。

現状と課題

四日市港が、港湾ユーザーに支持される利用価値の高い港湾となるためには、提供する港湾サービスの水準を高め、より優位性のあるものとしていく必要があります。

特に、四日市港は、港湾ユーザーとの良好な関係を構築し、その関係を一層強めていく中で、港湾として企業のサプライ・チェーンの一環を担っていきたいと考えており、それには、より港湾ユーザーのニーズに応じた利用しやすい港湾サービスの提供が不可欠です。

具体的には、さらなる港湾コストの低減やリードタイムの短縮、北米航路の就航など航路サービス網の充実といったことが、港湾ユーザーのニーズとして明らかになっており、今後、これらの実現に向け、重点的に取り組んでいく必要があります。

施策の取組方向

港湾管理者として船舶の入出港や荷役作業など港湾で行われる諸活動への支援を適切に行うとともに、官民一体となった協働の中、より港湾ユーザーのニーズに応じた、満足度の高い港湾サービスを実現していきます。

特に、航路サービスについては、港湾ユーザーの物流ニーズに機敏に対応できるよう情報を的確に把握し、北米航路など基幹航路の新規就航や、中国・東南アジア航路など既存航路の充実に取り組みます。

事業 10101		港湾活動支援サービスの提供	
目的	対象	港湾活動への支援サービスが	
	意図	港湾ユーザーにとって利用しやすく、かつ適切に提供されている という状態にする	
事業目標項目	港湾活動支援サービスにかかる苦情件数	目標値	0 件
		現状値 (2005年度)	0 件

〔事業目標項目の説明〕

・四日市港管理組合が提供する港湾活動への支援等のサービスに対して、港湾ユーザーから寄せられた苦情の件数。

事業の概要(主な取組)

港湾荷役にかかる支援

港湾ユーザーが行う港湾荷役作業に対し、ガントリークレーン等の荷役機械や、荷役作業に必要なヤード・上屋設備など、必要な便益を適切に提供するとともに、港湾ユーザー間の諸調整を行うことで、四日市港における港湾荷役作業が効率的かつ安全に行われるよう支援していきます。

港湾利用船舶にかかる支援

けい留施設の使用に関して適正な船席の指定を行うとともに、ひき船サービスなどの各種サービスを提供・斡旋することで、四日市港に入出港しようとする船舶の活動が、効率的かつ安全に行われるよう支援していきます。

災害時のコンテナ物流機能にかかる港湾連携

「四日市港災害時コンテナ物流連絡調整会議」の定期開催による情報共有や必要事項の検討など、災害発生時のコンテナ物流について、迅速かつ効果的に港湾間（名古屋港等）の相互利用が行えるよう、その体制の確立に向けた取組を進めます。

四日市港国際物流センター(株)への経営支援

四日市港において物流センター（高機能荷捌き施設）等のサービスを提供している出資法人「四日市港国際物流センター(株)」に対し、出資者として適切な助言、指導を行うなど、健全な法人経営のもと、適切なサービス提供が行われるよう支援していきます。

事業 10102		サービス水準の向上	
目的	対象	四日市港利用にかかる港湾物流コスト及び利便性が	
	意図	高いサービス水準を実現している という状態にする	
事業目標項目	港湾利用コストの削減率	目標値	14%
		現状値 (2006年度)	

〔事業目標項目の説明〕

- ・外貿コンテナ貨物にかかる港湾コストのうち、船舶関連費用（入港料、トン税・特別トン税、水先料、エスコートボート料、綱取放し料等）およびターミナル施設関連費用（岸壁使用料、ヤード使用料、ガントリークレーン使用料等）で構成されるコストの2006年度の水準に対する削減率。

事業の概要(主な取組)

港湾利用コストの削減

四日市港の利用にかかる港湾物流のコストが、より低廉なものとなるよう、引き続き、入港料や港湾施設使用料等の減免、ひき船使用料等の低減など、官民協働により、港湾コストの削減に取り組めます。

港湾利用サービスの向上

四日市港の利用にかかる利便性が、より高いサービス水準となるよう、コンテナくん蒸施設や共同デポ（共同シャーシ置き場）等の整備、ゲートの24時間フルオープン化に向けた取組など、官民協働により、ユーザーにとって使い勝手がよく利用しやすい港の実現に向け取り組めます。

港湾諸手続きIT化の推進

港湾利用諸手続きにかかる申請システムである「港湾EDI」を、国土交通省と共管のもとで、適正に運用していくとともに、その利用情報を処理する「港湾情報システム」や、通関情報処理システムである「NACCS」との連携をより強化していくなど、港湾ユーザーにとってより利用しやすいワンストップサービスの実現に向け取り組めます。

港湾物流情報システムの導入に向けた調整

四日市港のコンテナ物流に関する諸情報について、情報システムにより関係者間で共有することで、効率的で無駄のない港湾物流を実現するため、霞ヶ浦北ふ頭及び南ふ頭のコンテナターミナルの一体的なオペレーションシステムの運用状況を踏まえながら、全国の主要港湾が共同で開発し運用する港湾物流情報システム「JCL-net」の導入に向け調整を進めます。

事業 10103		物流機能多様化の推進	
目的	対象	四日市港の物流機能が	
	意図	港湾ユーザーの多様なニーズに対応できるものとなっている という状態にする	
事業目標項目	港湾関連用地への先端的な物流施設の誘致件数	目標値	1 件
		現状値 (2006 年度)	

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港の港湾関連用地に民間の物流業者等の先端的な物流施設を誘致できた件数。

事業の概要(主な取組)

先端的な物流施設の誘致

四日市港における物流機能が、港湾ユーザーの多様なニーズに対応し、そのサプライ・チェーン・マネジメントの一環を担うことができるよう、霞ヶ浦北ふ頭の港湾関連用地における新たなロジスティクスパークの形成に向けた環境の整備とともに、先端的な物流施設の立地を旨とする物流事業者等の誘致活動など、物流機能の高度化に向け取組を進めます。

静脈物流にかかる取組

四日市港におけるリサイクル資源や廃棄物等にかかる取扱機能をより充実させていくため、国が指定したリサイクルポート（総合的な静脈物流拠点港）との海上輸送ルートの構築など、静脈物流の促進に向けた調査・検討を行い、その取扱環境を整備していきます。

事業 10104		コンテナ定期航路網の充実	
目的	対象	外貿コンテナ定期航路網が	
	意図	背後圏の荷主企業のニーズに応えることができる充実したものとなっている という状態にする	
事業目標項目	外貿コンテナ定期航路サービス数	目標値	20 サービス
		現状値 (2006 年度)	17 サービス

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港において提供できる外貿コンテナ定期航路サービスの数。

事業の概要(主な取組)

北米等基幹航路の就航

四日市港で利用できる外貿コンテナ定期航路サービスについて、現在は定期航路サービスが無く、荷主企業からのニーズも高くなっている北米航路を中心に、「北米等基幹航路コンテナ船誘致事業補助制度」等も活用して基幹航路サービスの就航に向け取り組んでいきます。

中国・東南アジア航路の充実

既に四日市港で利用できるアジア域内の外貿コンテナ定期航路サービスについては、荷主企業にとって利便性が高く安定した航路サービスとなるよう努めるとともに、多くの潜在貨物量が見込まれる中国航路や、四日市港利用率が比較的低くなっているシンガポール・マレーシア及びタイ航路などについても、その潜在量の提示などを行い、航路サービス充実に向けて取り組んでいきます。

施策 102 港湾利用の促進

目的	対象	四日市港の背後圏に立地する荷主企業の多くが		
	意図	四日市港を利用している という状態にする		
施策目標項目	四日市港における外貿コンテナ貨物の取扱量	目標値	184,000 TEU	
		現状値 (2006年)	160,055 TEU	

〔施策目標項目の説明〕

- ・四日市港において1年間(1月～12月)に取り扱った外貿コンテナ貨物の量。(20フィートコンテナに換算したコンテナの個数)
 ポートセールス活動は主に外貿コンテナ貨物の集荷促進を目的に行われていることから外貿コンテナ貨物の取扱量を目標指標としています。

現状と課題

四日市港の利用をよりいっそう促進するためには、荷主企業のニーズに基づいたサービス提供の実現とともに、それらのサービスをより有効な手法でアピールし、荷主企業に四日市港を利用する意向を強めていただくことが必要です。

そのためには、セミナー開催や企業訪問によるPR活動といった従来型のポートセールスだけでなく、より重点的で効果的な、戦略性のあるポートセールス手法を模索していく必要があります。

施策の取組方向

個々の荷主企業が抱えている物流における課題に対して有効な解決策を提供するといった、よりきめ細かで、より効果的なポートセールスを実現するため、港湾物流にかかる調査及び分析の取組を強化します。

また、セールス活動の実施にあたっては、調査及び分析の結果に基づき、より有効なポートセールス戦略を明らかにしていくなど、港運企業などパートナーとの協働により、効果的で戦略性あるセールス活動を展開していきます。

特に、世界的にも環境意識の高まりが見られる中で、環境にやさしい海運の利用や、最寄り港利用による陸送距離の短縮など、物流における環境負荷の低減をキーワードに、四日市港の利用を呼びかけていきます。

事業 10201		ポートセールス活動の推進	
目的	対象	四日市港の背後圏に立地する荷主企業の多くが	
	意図	四日市港を利用している という状態にする	
事業目標項目	四日市港における外貿コンテナ貨物の取扱量	目標値	184,000 TEU
		現状値 (2006年)	160,055 TEU

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港において1年間に取り扱った外貿コンテナ貨物の量。(20フィートコンテナに換算したコンテナの個数)
 ポートセールス活動は主に外貿コンテナ貨物の集荷促進を目的に行われていることから外貿コンテナ貨物の取扱量を目標指標としています。

事業の概要(主な取組)

荷主企業ニーズ等情報の調査・分析

継続的な荷主企業への訪問によるニーズ等の把握や、コンテナ流動にかかる調査など、四日市港のマーケットにかかる情報を幅広く積極的に収集し、必要な情報の更新を継続していくとともに、それらを基に的確な分析を行い、戦略的なポートセールスの実現に活かしていきます。

戦略的なポートセールスの展開

これまで実施してきた企業訪問やセミナーを今後も継続していく中で、より効率的な手法について検討するとともに、そうした機会を通じて入手した企業情報等について調査・分析を行い、ターゲットを絞り込んだ提案型のセールス活動、三重県・四日市市の企業誘致・産業施策等と連携したセールス活動、四日市港の認知度向上のための専門誌への広告宣伝などを行なっていきます。

そして、こうした戦略的なポートセールスを、港運企業などパートナーとの協働で展開することにより取扱貨物量の増大を図っていきます。

施策 103 港湾活動にかかる安全の確保

目的	対象	港湾物流における活動環境が		
	意図	その安全性において高いレベルを保っている という状態にする		
施策目標項目	四日市港における事故・事件の発生件数	目標値	0 件	
		現状値 (2005 年度)	0 件	

〔施策目標項目の説明〕

- ・四日市港の安全対策や保安対策の不備などにより、四日市港内において事故や事件が発生した件数。

現状と課題

安定的な港湾物流を持続していくためには、港湾ユーザー等が安心して港湾活動を行える環境づくりが不可欠であり、物流の効率を低下させるような事故・事件が発生することのない、安全な活動環境を維持していかなければなりません。

特に、近年では、港湾における国際犯罪・テロ行為などの発生が危惧されており、そのような危害行為が港湾活動に及ぶことのないよう、十分な保安対策の実施が求められています。

施策の取組方向

船舶の航行や荷役・運搬等の港湾活動において、港湾ユーザー等が生命・財産の危機にさらされることのないよう、また、取り扱う貨物の価値が損なわれることのないよう、港湾管理者として、港湾施設等の安全管理を適切に行い、港湾活動における安全性を確保していきます。

また、改正 SOLAS 条約に対応した港湾施設の保安対策を引き続き継続するとともに、海上保安庁をはじめとする関係機関・団体と連携した保安体制を充実することにより、四日市港内における国際犯罪・テロ行為等の未然防止に努めます。

事業 10301		港湾施設等の安全管理	
目的	対象	港湾施設等にかかる安全性が	
	意図	港湾ユーザーの諸活動を安全に行うことができる高いレベルで確保されている という状態にする	
事業目標項目	港湾施設の管理に起因した港湾活動の安全上の影響発生件数	目標値	0 件
		現状値 (2005 年度)	0 件

〔事業目標項目の説明〕

- ・港湾施設等の管理または運用が不適切であったことに起因して、船舶運航、港湾荷役活動その他の港湾活動の安全性に悪影響を与えた事故等の発生件数。

事業の概要(主な取組)

港湾施設等の利用にかかる安全管理

航路の自主航行規制の実施、沈没船や漂流物等の除去など、港湾施設等を良好な状態に維持し、万が一異常が生じたときは関連する事故を防止するなど、四日市港の港湾施設等の利用にかかる安全性を高いレベルで維持していきます。

港内道路交通にかかる安全対策

交通標識・道路標示・路面舗装等について良好な状態を維持するとともに、安全走行への啓発活動や暴走行為が発生しにくい環境の整備など、臨港道路等における交通事故や転落事故を防止することで、港内の道路交通の安全確保に努めます。

巡視船「かもめ」の運営

巡視船「かもめ」により港内を巡視等することで、四日市港の航路・泊地・岸壁・海岸保全施設など水域の施設にかかる異常発見時の関係情報の提供や、軽微な異常への対応について適切に実施していきます

清港活動の推進

船舶の航行や物流活動の安全性に影響を与える港内のごみの収集・処理を行うとともに、その活動を通じた啓発等を行うことで、港内のごみをできる限り少なくし、港湾施設をはじめとする港内の環境を、安全かつきれいに維持していきます。

放置艇対策の推進

港湾区域内にけい留されているプレジャーボート等の放置艇が秩序正しくけい留され、地域住民の周辺環境に悪影響を与えることのないよう、四日市港の実情に即した放置艇対策に取り組んでいきます。

事業 10302		港湾保安対策の推進	
目的	対象	港湾施設等における保安状況が	
	意図	国際犯罪・テロ行為等を未然に防止し、これに適切に対処できるものとなっている という状態にする	
事業目標項目	港湾施設・船舶に対する危害行為の発生件数	目標値	0 件
		現状値 (2005年度)	0 件

〔事業目標項目の説明〕

・港湾施設及び船舶に対し危害行為・不法行為が発生した件数。

事業の概要(主な取組)

国際埠頭施設及び国際水域施設にかかる保安対策

埠頭保安規程及び水域保安規程等の見直しや、それに基づく保安設備の整備・保守点検、対象港湾施設への出入管理の実施など、国際埠頭施設及び国際水域施設への不審者・不審車輛等の侵入を防止することで、四日市港の国際港湾施設における活動の安全性を高いレベルで維持していきます。

四日市港保安委員会による保安活動

海上保安部・警察等の関係各機関で構成する四日市港保安委員会を定期的を開催することで、各種情報を共有するとともに、保安の向上と入出管理の強化を図るための連携・協力等について、協議・調整を行います。

また、緊急事態に対して適切に対応できる強固な保安体制を構築するため、関係各機関の合同による情報伝達訓練及び実働訓練を実施します。

施策 104 港湾経営基盤の充実・強化

目的	対象	港湾経営における基盤が	
	意図	港湾ユーザーのニーズに適切に対応できるよう十分に整備され、最適な状態で維持されている という状態にする	
施策目標項目	公共の陸域施設の供用面積	目標値	143.99 ha
		現状値 (2005年度)	134.21 ha

〔施策目標項目の説明〕

- ・四日市港の公共の陸域施設（けい留施設、臨港道路、荷捌き施設、保管施設等）の供用面積の和。

現状と課題

四日市港が、背後圏の産業を物流面から支え、地域経済の進展に大きく貢献できる港湾として、より多くの貨物を取り扱っていくためには、物流における海上輸送の拠点として、より多くの港湾ユーザーから支持される港湾となることが重要です。

そして、多くのユーザーの支持を得るためには、優位性のある高水準なサービス提供の実現とともに、ハード基盤を充実・強化していくことが必要です。

特に、近年貨物量の増加が著しい国際海上コンテナ貨物については、国内外の港湾間競争も激化しており、四日市港においては、今後のコンテナ貨物量の増加や船舶の大型化などに対応できる港湾の整備が大きな課題となっています。

また、四日市臨海部工業地帯を背後に有する四日市港は、原料の輸入、エネルギーの供給基地としても大きな役割を担っていることから、それらの物流ニーズに対応した港湾の整備も重要です。

施策の取組方向

港湾ユーザーの物流ニーズを十分に見極める中で、霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナル背後の施設整備など、新たな港湾施設の整備を計画的に進めるとともに、既存の港湾施設についても適切な改修・維持補修を行い、その能力を最適な状態に維持していくなど、港湾経営の基盤である港湾施設について充実・強化していきます。

また、背後圏から四日市港への道路アクセス網についても、第二名神高速道路や東名阪自動車道などの主要道路網へのアクセス強化となる、臨港道路霞 4 号幹線の整備を中心に、一層の充実を図っていきます。

事業 10401		港湾施設の整備	
目的	対象	港湾施設が	
	意図	港湾ユーザーのニーズに対応するものとして十分に整備され、かつ正常な状態で維持されている という状態にする	
事業目標項目	接岸可能貨物船舶のトン数	目標値	504,900 トン
		現状値 (2005年度)	502,900 トン

〔事業目標項目の説明〕

- ・貨物船舶の接岸を目的とする四日市港の公共岸壁において、同時に接岸が可能な船舶の載貨重量トン数（貨物の最大積載量を表す指標で、船舶の満載時の排水量と無貨物時の排水量との差）の和。

事業の概要(主な取組)

国際海上コンテナターミナルの整備

コンテナ船の大型化や物流需要の増加などに対応していくため、引き続き、北ふ頭国際海上コンテナターミナル（W80号岸壁）背後のヤード整備（2期工事）を進め、四日市港の国際コンテナ貨物の取扱能力をより高めていきます。

また、新たな国際海上コンテナターミナル（W81号岸壁）についても整備に向けた諸準備を進めていきます。

その他港湾施設の整備

第1埠頭1号岸壁及び第3埠頭15号岸壁の改修など、四日市港の港湾施設等が安定的かつ効率的な港湾物流を支えることができるよう、岸壁ならびに背後ヤード等の施設整備を進めます。

港湾施設の維持補修

岸壁ならびに背後ヤード等の補修や、計画的な航路及び泊地の維持しゅん渾など、港湾施設の正常な状態を維持し続けるため、その優先度等を考慮しつつ、より適切な維持管理と迅速な補修に努めます。

石原地区の整備推進

石原地先における港湾用地の整備に向け、港の開発・保全により発生するしゅん渾土砂及び地域の産業廃棄物の処分場として、それらを適正に投入し埋立を進めます。

事業 10402		既存ストックの有効利用	
目的	対象	既存の港湾施設が	
	意図	より効率的に利用されている という状態にする	
事業目標項目	港湾施設の利用率	目標値 (2010年度)	81 %
		現状値 (2005年度)	76 %

〔事業目標項目の説明〕

- ・荷さばき地及び野積場にかかる利用率。（100%稼動したときの使用料収入に対する使用料収入実績の割合）

事業の概要(主な取組)

利用率向上の取組

霞ヶ浦南ふ頭の有効な土地利用にかかる整理整頓や、ユーザーニーズへの柔軟な対応など、既存の港湾施設の運用形態の最適化に向け取り組んでいくことで、港湾施設がより有効に利用され、安定的かつ効率的な物流の一助となるよう調整を図っていきます。

事業 10403		道路アクセス網の充実	
目的	対象	四日市港と背後圏を結ぶ陸上アクセスが	
	意図	最適な輸送ルートとして確保できている という状態にする	
事業目標項目	県内各方面及び滋賀方面から四日市港へのアクセス時間の短縮時間	目標値	44分
		現状値 (2006年度)	

[事業目標項目の説明]

- ・県内(中勢・南勢・伊賀・東紀州)及び滋賀(長浜)の各方面から四日市港へのアクセス時間(コンテナ車両での走行で地点間の距離から推計される所要時間)の総和が、道路整備の実現に伴い短縮される時間。

事業の概要(主な取組)

霞 4 号幹線の整備

四日市市・川越町の地元関係者への説明会の実施や、ルート沿線の企業や漁協組合等への協議など、四日市港の臨港部における新たなアクセスの実現に向け、四日市港霞ヶ浦地区から第二名神高速道路みえ川越 IC を結ぶ新たな臨港道路「霞 4 号幹線」の整備を進めていきます。

整備要望路線の整備実現

四日市港ユーザーにとっての最適な陸上アクセスを確立するため、滋賀をはじめ各方面からの最適なアクセスルート(国道 365 号員弁バイパス、国道 421 号、国道 1 号北勢バイパス等)にかかる未整備区間の事業主体(道路管理者)に対して、ルートの早期実現に向けた整備要望活動など、積極的な働きかけを行っていきます。

政策 2 災害に強く、県民や市民の安全・安心を支える港づくり

政策の目標項目と目標数値

政策目標項目	災害により地域住民等が被災した件数	目標値	0 件
		現状値 (2005 年度)	0 件

〔政策目標項目の説明〕

- ・四日市港における災害（地震・高潮・津波）対策の不備などが原因で、四日市港の背後の地域住民等が被災した件数。

施策及び事業

〔施策〕	〔事業〕	〔ページ〕
201 地震・高潮・津波等災害 対策の推進 (22 ページ)	20101 防災体制の充実	23
	20102 海岸保全施設の整備	23

施策 201 地震・高潮・津波等災害対策の推進

目的	対象	地震・高潮・津波など災害への対応が		
	意図	背後地域の住民の生命・財産を、確実に守ることができるものとなっている という状態にする		
施策目標項目	災害により地域住民等が被災した件数	目標値	0 件	
		現状値 (2005 年度)	0 件	

〔施策目標項目の説明〕

- ・四日市港における災害（地震・高潮・津波）対策の不備などが原因で、四日市港の背後の地域住民等が被災した件数。

現状と課題

四日市港の背後地域の住民をはじめ、県民・市民の防災意識が高まる中、四日市港としては、地震・高潮・津波などの自然災害から背後地域の住民の生命や財産を守るといった、港湾としての役割をしっかりと果たしていくことが求められており、地域の企業や住民との協働の中、その防災体制をより有効なものとしていく必要があります。

施策の取組方向

高潮や津波などの自然災害に備える、四日市港管理組合の防災体制については、マニュアル等の整備や教育・訓練の充実など、職員の防災能力の一層の向上を図ることで、災害の発生時にその機能を十分発揮できるものとしていきます。

また、護岸や胸壁などの海岸線を保全するための施設について、その整備や維持管理を適切に行うとともに、防潮扉等の開閉についても、ハード・ソフトの両面から、その機能や運用の改善を進めることで、高潮や津波などの災害発生に備えます。

さらに、大規模災害の発生時には、直背後地域への緊急物資輸送について、耐震強化された岸壁や輸送ルートを活用し、緊急物資の輸送が迅速かつ適切に行われるよう、関係機関や団体等との連携や協力体制を強化していきます。

事業 20101		防災体制の充実	
目的	対象	地震・高潮・津波等の災害に備える四日市港の体制が	
	意図	災害発生に対し十分に機能し、対応できるものとなっている という状態にする	
事業目標項目	防潮扉等の開閉目標時刻までの開閉完了率	目標値	100 %
		現状値 (2005年度)	100 %

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港管理組合が1年間に行う防潮扉・水門・樋門の開閉作業のうち、それぞれの開閉目標時刻までに開閉作業を完了できた割合。

事業の概要(主な取組)

防災体制の充実

地震・高潮・津波などの災害に備える四日市港の防災体制が、災害発生時にその機能を十分に発揮できるものとなるよう、関係機関及び企業・住民との連携を強化するとともに、職員研修や訓練などの実施、マニュアル等の検証・見直しなど、その災害対応力を高めることで、より充実させていきます。

防潮扉の運用

高潮・津波等の災害発生が予想される時の防潮扉等の開閉が迅速かつ正確に行われるよう、関係機関及び企業・住民との連携を強化するとともに、防潮扉操作訓練・実働訓練などの実施、マニュアル等の検証・見直しなど、防潮扉等の開閉にかかる実効性を高めていきます。

緊急物資輸送対策の推進

四日市港における大規模災害発生時の緊急物資輸送が確実かつ円滑に行われるよう、大規模災害時の混乱回避や応急復旧に関し関係団体と締結した協定について、緊急連絡体制などの確認を行うことで、その実効性を高めていきます。

事業 20102		海岸保全施設の整備	
目的	対象	四日市港の護岸や胸壁などの海岸保全施設が	
	意図	海岸保全施設技術基準に適合する海岸保全機能を有するものとなっている という状態にする	
事業目標項目	護岸の改修率	目標値	81 %
		現状値 (2005年度)	68 %

〔事業目標項目の説明〕

- ・海岸保全基本計画に位置付けている5地区(富洲原、富田、運河、2号地、石原)の整備計画延長(4.7km)のうち改修を完了した護岸延長の割合。

事業の概要(主な取組)

海岸保全施設の整備

富洲原港地区・富田港地区・石原地区・2号地地区の護岸改修など、四日市港の海岸保全施設について、「海岸保全施設技術基準」に対応した整備・更新を図るなど、適正な海岸保全機能を有するものに整備していきます。

また、防潮扉については、港湾の諸活動に支障をきたすことなく、高潮・津波等の災害に対し、より適切に対応できるものに改修していきます。

海岸保全施設の維持補修

巡視・点検・修繕の実施など、四日市港の海岸保全施設について、海岸保全の機能を正常な状態で維持し続けるため、より適切な維持管理と迅速な補修に努めます。

政策 3 多くの県民や市民が訪れ、身近に感じられる港づくり

政策の目標項目と目標数値

政策目標項目	四日市港で行われる諸活動への参加者数	目標値	95,000 人
		現状値 (2005年度)	77,669 人

〔政策目標項目の説明〕

・イベントなど四日市港で行われる諸活動への参加者数の和。

施策及び事業

〔施策〕	〔事業〕	〔ページ〕
301 環境と共生した魅力ある 港空間の形成 (26 ページ)	30101 緑地・公園の整備	27
	30102 港内環境の保全	27
	30103 温室効果ガス排出量の削減	28
302 港とふれあう機会の拡大 (29 ページ)	30201 イベントの実施	30
	30202 港情報の発信	30

施策 301 環境と共生した魅力ある港空間の形成

目的	対象	四日市港を訪れ親しんでいただくための施設や場所が	
	意図	県民・市民にとってより魅力のあるものとなっている という状態にする	
施策目標項目	港に親しんでいただくための施設にかかる苦情件数	目標値	0 件
		現状値 (2005 年度)	0 件

〔施策目標項目の説明〕

- ・緑地・公園など、四日市港に親しんでいただくための施設に対して、快適でないことを理由に県民・市民のみなさんから寄せられた苦情の件数。

現状と課題

多くの県民・市民のみなさんが四日市港を訪れ、港を身近なものと感じていただくためには、まず、四日市港という港が、県民・市民のみなさんにとって、十分に魅力のある空間となっていることが重要であり、港に親しんでいただくための施設・場所の形成においては、県民・市民のみなさんのニーズをしっかりと踏まえていかなければなりません。

また、地球規模で進行する温暖化の抑止が社会的な課題となっており、四日市港も一つの活動主体として、港湾運営における環境への配慮が求められています。

施策の取組方向

四日市港を訪れていただいた方が、そこで憩い、くつろげる緑地・公園といった快適な水辺空間を、そのニーズを十分に踏まえながら、適切に整備・維持していくとともに、水環境の改善など常にきれいな港湾環境の維持に努めることで、県民・市民のみなさんにとって、より魅力のある港空間を形成していきます。

また、四日市港管理組合においては、港湾における環境への取組の先進的な役割を果たしていくため、引き続き、地球温暖化の主要因とされる温室効果ガスの排出量削減に取り組めます。

事業 30101		緑地・公園の整備	
目的	対象	四日市港の緑地や公園が	
	意図	利用者にとって居心地良く、利用しやすいものになっている という状態にする	
事業目標項目	緑地・公園の適正維持率	目標値	100 %
		現状値 (2005年度)	100 %

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港管理組合が管理する緑地・公園（14箇所）の照明・トイレ・樹木等について、定期的に行うパトロールや、利用者からの通報等により発見された維持管理面での不具合に対し、適切に対応し、それらを解消することができた件数の割合。

事業の概要(主な取組)

緑地・公園の維持管理

四日市港管理組合が管理する緑地・公園について、定期的なパトロールの実施など、適切かつ効率的に維持管理することで、四日市港を訪れる人々や、四日市港で働く人々が居心地良く感じる空間を維持していきます。

新たな緑地・公園整備の検討

四日市港を訪れる人々や、四日市港で働く人々が、憩い、楽しむことができる快適な空間を、より一層拡大していくため、住吉地区の運河埋め立てによる、新たな緑地・公園整備の検討を進めます。

事業 30102		港内環境の保全	
目的	対象	四日市港の環境が	
	意図	県民・市民にとって快適と感じられるものになっている という状態にする	
事業目標項目	四日市港の水域におけるCODの平均値	目標値	3.1 mg/ 以下
		現状値	3.3 mg/ (2001~2005年度)

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港の水域5地点における（目標年度からの）過去5年間のCOD(化学的酸素要求量)の平均値。海域のCODは降雨等の気象による影響を受けることがあるので、現状値、目標値ともに過去5年間の平均値としています。

事業の概要(主な取組)

港湾環境の保全にかかる活動の実施

港湾環境の改善又は維持に向けて、四日市港の水環境の保全にかかる啓発など、四日市港の港湾環境の保全活動に取り組んでいきます。

また、将来的に港内環境の保全活動を住民との協働事業としていくため、地域住民との意見交換の実施など、実現に向けた詳細調査や検討を行います。

水質調査の実施

水環境をはじめとした港湾環境のデータを適正に把握し、良好な港湾環境を維持していくための港湾施策に活用するため、港内の水域 5 地点における水質等の調査を定期的実施します。

事業 30103		温室効果ガス排出量の削減	
目的	対象	四日市港管理組合の事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガスが	
	意図	より減少している という状態にする	
事業目標 項目	温室効果ガスの排出量	目標値	1,386 トン
		現状値 (2005年度)	1,485 トン

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港管理組合の事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガス（二酸化炭素換算値）の量。

事業の概要(主な取組)

地球温暖化対策実行計画に基づいた取組の実施

四日市港管理組合の活動に伴い排出される温室効果ガスが、2000 年度の基準排出量以下の水準を維持し続けるよう、地球温暖化対策にかかる職員研修など、「四日市港管理組合地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスの排出抑制に取り組めます。

ISO14001 環境マネジメントシステムによる進行管理

温室効果ガスの排出抑制にかかるマネジメントについては、ISO14001 環境マネジメントシステムによる年度単位の目標管理のもと、その進行を管理していきます。

施策 302 港とふれあう機会の拡大

目的	対象	県民・市民にとっての四日市港とのふれあいが		
	意図	より多くの機会において実現している という状態にする		
施策目標項目	展望展示室の入場者数	目標値	37,000 人	
		現状値 (2005年度)	33,720 人	

〔施策目標項目の説明〕

- ・ポートビル展望展示室「うみてらす 14」への年間の延べ入場者数。

現状と課題

多くの県民・市民のみなさんが四日市港を訪れ、港を身近なものと感じていただくためには、施設・場所の魅力向上とともに、県民・市民のみなさんに港を訪れていただくための「きっかけ」を積極的につくっていくことも重要であり、それらの機会において、港への理解を深めていただくことが理想的です。

また、アンケート調査の結果において、四日市港は県民・市民のみなさんに十分に認知されていないことが明らかになっており、そのニーズとしても情報発信の強化が求められていることから、今後は、より積極的に情報を発信していくことが必要です。

施策の取組方向

県民・市民のみなさんのニーズを踏まえながら各種イベントを開催し、できる限り多くの県民・市民のみなさんに、四日市港を訪れ、港とふれあい、港を理解していただける機会を提供していきます。

また、これらイベント等の情報はもとより、四日市港が物流面において地域にもたらしている経済効果など、様々な港の情報について、多くの機会を通じて積極的に発信していきます。

事業 30201		イベントの実施	
目的	対象	四日市港管理組合が主催するイベントが	
	意図	多くの県民・市民に港を訪れていただき、港に親しんでいただくために開催されている という状態にする	
事業目標項目	イベント参加者数	目標値	11,800 人
		現状値 (2005年度)	11,577 人

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港管理組合が主催するイベントへの参加者数。

事業の概要(主な取組)

関係機関、住民等との協働によるイベントの実施

港関係機関、団体や港サポーター等のボランティアと連携し、「四日市港まつり」をはじめとする四季折々のイベントを開催します。

事業 30202		港情報の発信	
目的	対象	四日市港における施設や活動などの情報が	
	意図	多くの県民・市民にご理解いただいている という状態にする	
事業目標項目	ホームページにおけるイベント情報等掲載件数	目標値	45 件
		現状値 (2005年度)	28 件

〔事業目標項目の説明〕

- ・四日市港管理組合のホームページにおいてイベント情報等を掲載（更新）した件数。

事業の概要(主な取組)

展望展示室の適切な運営

四日市港ポートビルの展望展示室が、訪れる人々にとって魅力ある施設となるよう、適切な運営、計画的な展示更新や集客対策を行いながら、入場者数の確保、入場者満足度の向上に努めます。

各種媒体による情報発信

四日市港にかかる情報について、より多くの県民・市民にお伝えしていくため、「四日市港要覧」、「PORT OF YOKKAICHI」、「ボルテ君の四日市港たんけん」や定期刊行物の「四日市港ニュース」等の印刷物及びホームページによる情報発信を行います。